

第1期末（2025年12月10日）

基準価額	13,224円
純資産総額	102百万円
騰落率	32.2%
分配金	0円

FWニッセイ ゴールドファンド

追加型投信／内外／その他資産（商品）

運用報告書(全体版)

作成対象期間:2025年7月22日～2025年12月10日

第1期(決算日 2025年12月10日)

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「FWニッセイゴールドファンド」は、
このたび第1期の決算を行いました。

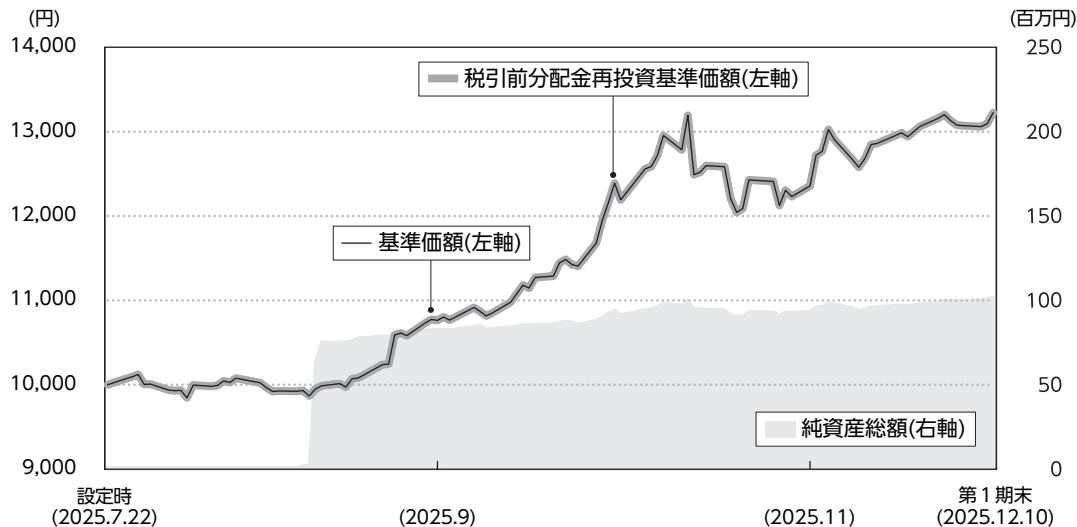
当ファンドは、「ニッセイゴールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2025年7月22日～2025年12月10日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	13,224円	騰落率(分配金再投資ベース)	32.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2025年9月から10月中旬にかけて、トランプ米政権による米連邦準備制度理事会(FRB)の独立性に対する政治介入への懸念や軟調な米雇用統計、米連邦公開市場委員会(FOMC)による利下げ決定を背景に金価格が上昇したこと
- ・10月初から11月末にかけて、パウエルFRB議長の利下げに慎重な発言や自民党総裁選における高市氏の勝利、日銀の利上げ観測の後退を背景に米ドル高円安が継続したこと

<下落要因>

- ・2025年10月中旬から10月末にかけて、米政府機関の再開観測やパウエルFRB議長の発言を背景とした米ドル・米金利の上昇を受けて金価格が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	8円	0.068%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,463円です。
(投信会社)	(6)	(0.051)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.009)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.009)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	3	0.026	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(3)	(0.026)	$\text{売買委託手数料} : \text{有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料}$
その他費用	1	0.007	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.007)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	12	0.101	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

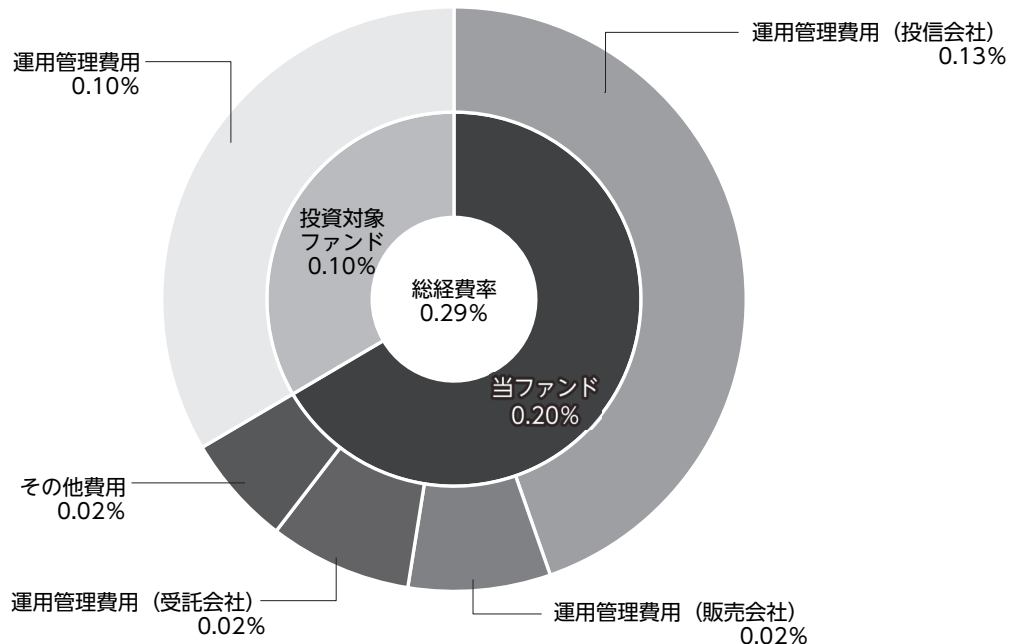
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.29%**です。



総経費率（①+②）	0.29%
①当ファンドの費用の比率	0.20%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.10%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れているマザーファンドが投資している投資信託証券です。

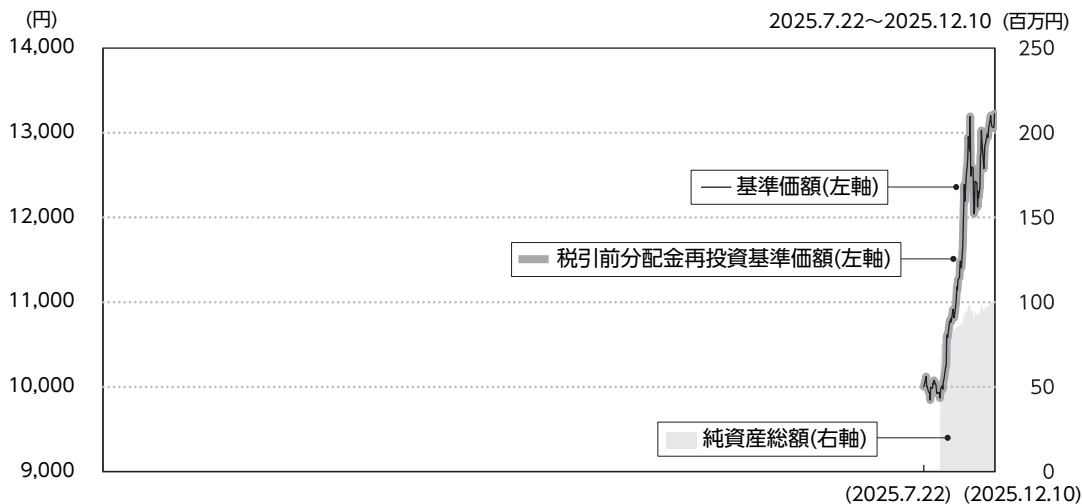
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。②の費用は、当ファンドが間接的に負担している投資対象ファンドの費用です。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8) 投資対象ファンドの費用は総経費率、信託報酬率で全額を運用管理費用としています。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2025年7月22日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2025年7月22日	2025年12月10日
基準価額（分配前）	(円)	10,000	13,224
期間分配金合計（税引前）	(円)	－	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	－	32.2
純資産総額	(百万円)	1	102

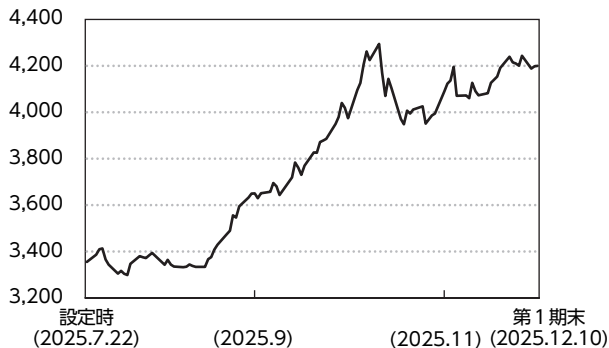
(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

投資環境

■金市況

【金価格（米ドルベース）の推移】



(注) 金価格（米ドルベース）はLBMA Gold Price PM USDであり、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

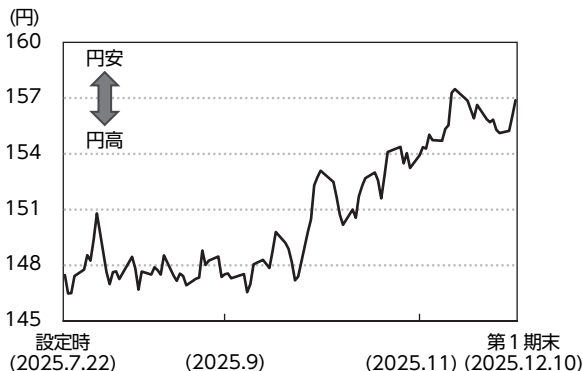
設定時から8月末にかけては、軟調な米雇用統計やパウエルF R B議長の利下げ示唆を背景に安全資産へ買いが入ったことから金価格は上昇しました。

9月から10月中旬にかけては、米政権によるF R Bの独立性に対する政治介入への懸念や軟調な米雇用統計、F O M Cの利下げ決定を背景に金価格は上昇しました。

その後、当期末にかけては米政府機関の再開観測やパウエルF R B議長の発言を背景とした米ドル・米金利の上昇を受けて金価格は一時下落したものの、米関税政策を巡る政治的混乱やF O M Cでの利下げ期待により、安全資産として金価格は上昇しました。

■為替市況

【米ドル／円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは米ドル高円安傾向となりました。

設定時は米利下げ観測の後退や日本の参院選における与党大敗後の財政拡張懸念、投資家のリスク選好姿勢から米ドル高円安基調となりました。

10月初から11月末にかけては、パウエルF R B議長による利下げに慎重な発言や自民党総裁選における高市氏の勝利、日銀の利上げ観測の後退を背景に米ドル高円安が継続しました。

当期末は高市政権による拡張的な財政政策への警戒が再燃し、米ドル高円安基調が一段と強まりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（なお、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
 なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2025年7月22日～2025年12月10日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,224円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。
 （注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第1期末 2025年12月10日
ニッセイゴールドマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

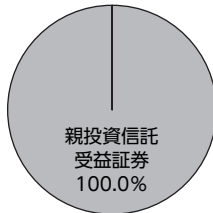
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

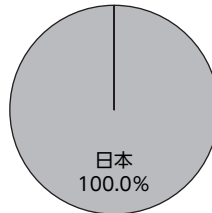
項目	第1期末 2025年12月10日
純資産総額	102,052,576円
受益権総口数	77,170,025口
1万口当たり基準価額	13,224円

(注) 当期間中における追加設定元本額は88,627,509円、同解約元本額は12,457,484円です。

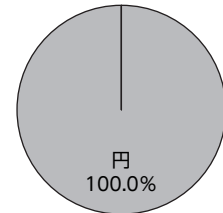
■資産別配分



■国別配分



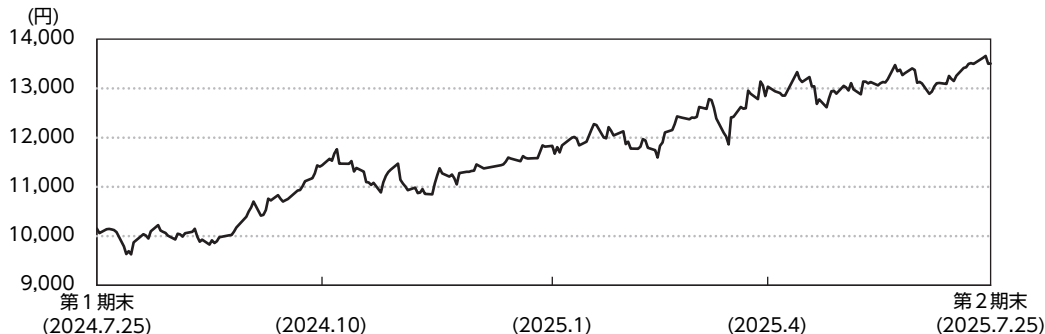
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年12月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイゴールドマザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

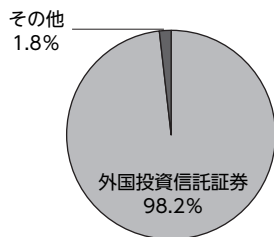
銘柄名	通貨	比率
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	米ドル	98.2%
組入銘柄数	1	

■1万口当たりの費用明細

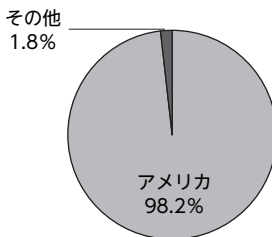
2024.7.26~2025.7.25

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	17円 (17)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (8) (0)
合計	25

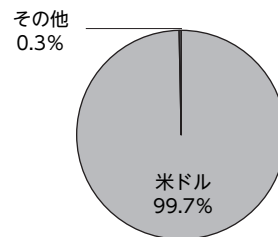
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



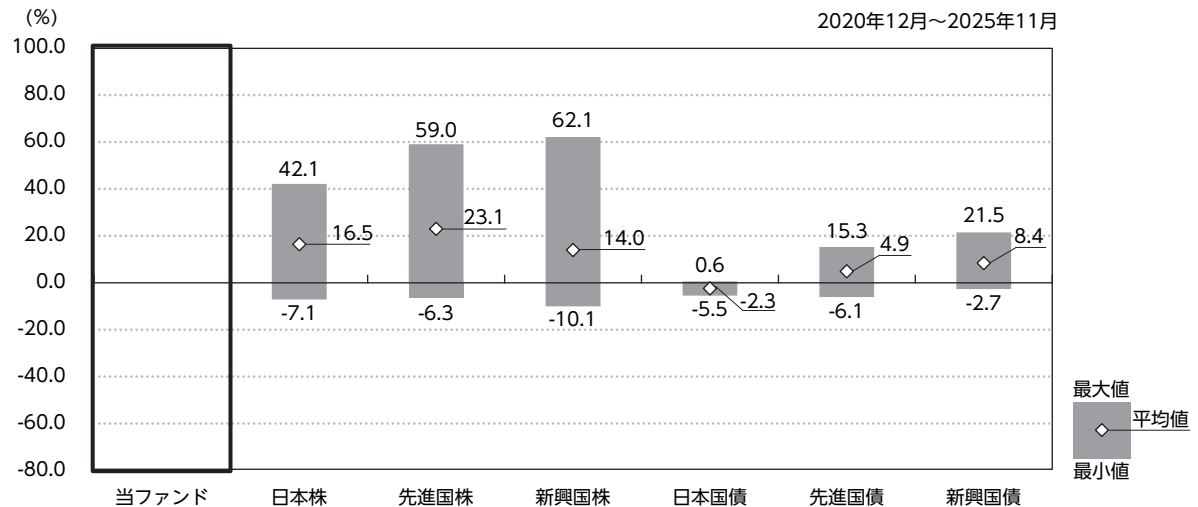
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2025年7月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが1年分に満たないため、比較すべきデータが存在しません。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2025年7月22日	10,000	－	－	10,000	－	1
1期(2025年12月10日)	13,224	0	32.2	13,224	98.8	102

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託証券 組入比率
	円		%	%
(設定日)2025年 7 月22日	10,000		－	－
7 月末	9,844	△	1.6	97.4
8 月末	10,117		1.2	97.8
9 月末	11,445		14.5	98.5
10月末	12,427		24.3	98.5
11月末	13,061		30.6	98.2
(期 末)2025年12月10日	13,224		32.2	98.8

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年7月22日～2025年12月10日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	66,401	91,041	9,257	14,504

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年7月22日～2025年12月10日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2025年12月10日現在

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	57,143	102,053

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイゴールドマザーファンド全体の口数は4,417,245千口です。

投資信託財産の構成

2025年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイゴールドマザーファンド	102,053	99.8
コール・ローン等、その他	222	0.2
投資信託財産総額	102,275	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月10日における邦貨換算レートは、1米ドル156.88円です。

(注2) ニッセイゴールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（7,868,632千円）の投資信託財産総額（7,968,715千円）に対する比率は98.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年12月10日現在)

項目	当期末
(A)資産	102,275,519円
コール・ローン等	46,023
ニッセイゴールドマザーファンド(評価額)	102,053,067
未収入金	176,429
(B)負債	222,943
未払解約金	174,488
未払信託報酬	48,225
その他未払費用	230
(C)純資産総額(A-B)	102,052,576
元本	77,170,025
次期繰越損益金	24,882,551
(D)受益権総口数	77,170,025口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,224円

(注) 設定元本額 1,000,000円
期中追加設定元本額 88,627,509円
期中一部解約元本額 12,457,484円

損益の状況

当期(2025年7月22日~2025年12月10日)

項目	当期
(A)有価証券売買損益	23,473,389円
売 買 益	25,416,542
売 買 損	△ 1,943,153
(B)信託報酬等	△ 48,455
(C)当期損益金(A+B)	23,424,934
(D)追加信託差損益金*	1,457,617
(売買損益相当額)	(1,457,617)
(E)合計(C+D)	24,882,551
次期繰越損益金(E)	24,882,551
追加信託差損益金	1,457,617
(売買損益相当額)	(1,457,617)
分配準備積立金	23,424,934

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	23,424,934円
(c) 信託約款に定める収益調整金	1,457,617円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	24,882,551円
(f) 分配対象額 (1 万口当たり)	3,224.38円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1 万口当たり)	0円

お知らせ

■ 自社による当ファンドの設定解約状況

当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
		元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	%	
1	－	1	1	1.3	当初設定時における取得

(注) 元本および評価額の単位未満は切り捨てています。なお当社は自社による当ファンドの保有分を解約することがあります。

運用者情報

■ 当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ FWニッセイゴールドファンド



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/fngf/main.html>

当ファンドの概要

商	品	分	類	追加型投信／内外／その他資産（商品）
信	託	期	間	無期限
運	用	方	針	ニッセイゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
主要運用対象	F W ニ ッ セ イ ゴ ー ル ド フ ァ ン ド		ニッセイゴールドマザーファンド受益証券	
	ニ ッ セ イ ゴ ー ル ド マ ザ ー フ ァ ン ド		金価格への連動をめざす E T F 等	
運 用 方 法	F W ニ ッ セ イ ゴ ー ル ド フ ァ ン ド		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニ ッ セ イ ゴ ー ル ド マ ザ ー フ ァ ン ド		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分	配	方	針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

ニッセイゴールドマザーファンド

運用報告書

第 2 期

(計算期間：2024年7月26日～2025年7月25日)

運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

主要運用 対象

金価格への連動をめざすＥＴＦ等

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・ 株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

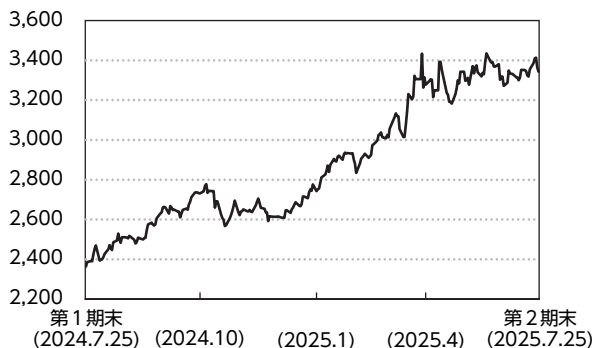
運用経過

2024年7月26日～2025年7月25日

投資環境

金市況

【金価格（米ドルベース）の推移】



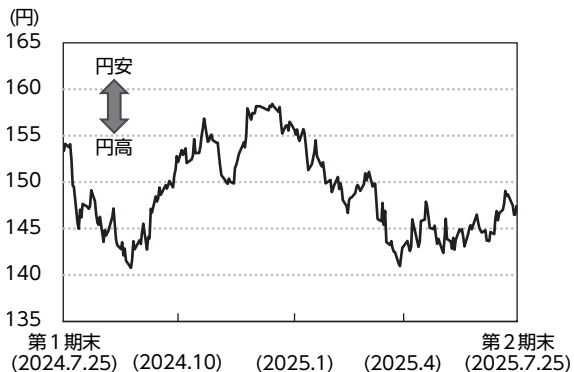
(注) 金価格（米ドルベース）はLBMA Gold Price PM USDであり、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

期初はF R Bが利下げに転じたことや中東の地政学リスクの高まりなどを背景に安全資産としての買いにより、金価格は上昇しました。期半ばは米トランプ新政権発足に伴う政策不透明感や関税政策への懸念からの逃避買いが生じ、金価格は上昇しました。その後、当期末にかけても、米中間の関税を巡る対立懸念などから安全資産としての金需要が支えとなり、金価格は上昇しました。

為替市況

【米ドル／円レートの推移】

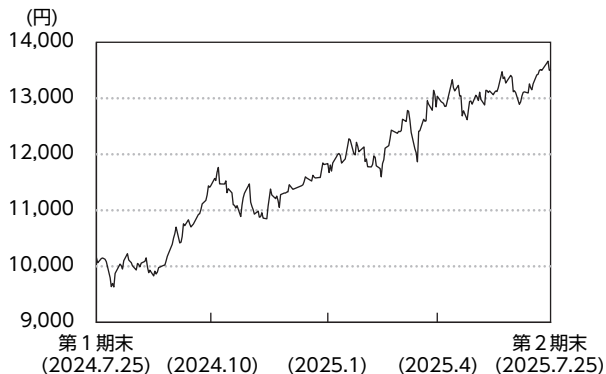


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当期の米ドル／円レートは米ドル安円高となりました。

期初は発表された米経済指標が軒並み弱含んだことや、米パウエルF R B議長の利下げに前向きな姿勢等から米ドル安円高で始まりましたが、12月末にかけては、米国の財政支出拡大や関税引き上げに伴うインフレ再燃が意識されたことなどから米ドル高円安となりました。1月から4月にかけては、日銀の追加利上げへの警戒感や、米トランプ政権による関税政策を巡る不透明感等から大きく米ドル安円高となりましたが、当期末にかけては、日銀の金融政策決定会合を受けて早期の利上げ観測が後退したことなどから再び米ドル高円安となりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2024年9月中旬から10月下旬にかけて、ECBやFRBの利下げ、中東の地政学リスクの高まりにより金価格が上昇したことや、為替が円安に推移したこと
- ・ 2025年1月に米トランプ新政権発足に伴う政策不透明感が意識されて投資家のリスク回避の買いが入ったほか、中国人民銀行による金保有増加の報道等を背景に金価格が上昇したこと
- ・ 3月に米インフレ指標鈍化や関税政策の影響等で金への逃避買いが生じ、金価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 11月に米大統領選でのトランプ氏勝利により、同氏の政策がインフレを加速させるとの思惑から米金利が上昇したため、金価格が一時大幅に下落したこと
- ・ 4月上旬に、トランプ米大統領の発表した相互関税を受けて世界経済の悪化や貿易摩擦激化への懸念が高まり、他の資産と同様に金が売られたことや、為替が円高となったこと

ポートフォリオ

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは金価格への連動をめざすETF等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■ 今後の運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ お知らせ

■ 約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

（2025年4月1日）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2024年4月30日	10,000	—	—	100
1期(2024年7月25日)	10,153	1.5	96.3	233
2期(2025年7月25日)	13,505	33.0	98.2	3,366

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(期首)2024年7月25日	10,153	—	96.3
7月末	10,136	△ 0.2	97.6
8月末	10,057	△ 0.9	97.0
9月末	10,415	2.6	96.3
10月末	11,763	15.9	96.9
11月末	10,931	7.7	94.7
12月末	11,373	12.0	98.0
2025年1月末	11,843	16.6	97.0
2月末	11,776	16.0	96.6
3月末	12,583	23.9	98.0
4月末	12,906	27.1	97.7
5月末	12,982	27.9	97.1
6月末	12,889	26.9	97.8
(期末)2025年7月25日	13,505	33.0	98.2

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2024年7月26日～2025年7月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資信託証券)	17円 (17)	0.148% (0.148)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	8 (8)	0.065 (0.064)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.001)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	25	0.213	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（11,748円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年7月26日～2025年7月25日

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外 (アメリカ)	千口	千米ドル	千口	千米ドル
国 SPDR GOLD MINISHARES TRUST	325	19,916	20	1,086

(注1) 金額は受渡金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2025年7月25日現在

外国 (外貨建) 投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
				外貨建金額 邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	30	336	22,420	3,305,233
合計	口数・金額	30	336	— 3,305,233
	銘柄数<比率>	1	1	— <98.2%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率です。

(注3) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

投資信託財産の構成

2025年7月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託証券	3,305,233	96.6
コール・ローン等、その他	117,554	3.4
投資信託財産総額	3,422,788	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル147.42円です。

(注2) 外貨建純資産 (3,356,374千円) の投資信託財産総額 (3,422,788千円) に対する比率は98.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイゴールドマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月25日現在)

項目	当期末
(A)資産	3,439,988,315円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	117,554,390
投 資 信 託 証 券(評価額)	3,305,233,365
未 収 入 金	17,200,560
(B)負債	73,336,947
未 払 金	55,558,512
未 払 解 約 金	17,778,435
(C)純 資 産 総 額(A - B)	3,366,651,368
元 本	2,492,949,999
次 期 繰 越 損 益 金	873,701,369
(D)受 益 権 総 口 数	2,492,949,999口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13,505円

- (注1) 期首元本額 229,860,525円
 期中追加設定元本額 3,255,272,251円
 期中一部解約元本額 992,182,777円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）
 <購入・換金手数料なし> 198,484,322円
 ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）
 <購入・換金手数料なし> 2,293,724,722円
 F Wニッセイゴールドファンド 740,955円

損益の状況

当期（2024年7月26日～2025年7月25日）

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	917,787円
受 取 利 息	917,787
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	315,197,319
売 買 益	317,781,773
売 買 損	△ 2,584,454
(C)信 託 報 酬 等	△ 667,359
(D)当期損益金 (A + B + C)	315,447,747
(E)前 期 繰 越 損 益 金	3,508,386
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	766,102,571
(G)解 約 差 損 益 金	△ 211,357,335
(H)合 計(D + E + F + G)	873,701,369
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	873,701,369

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。